

Claude Code の入れ方 ①デスクトップアプリ (Mac)

Mac で、黒い画面を使わずにボタンだけで Claude Code を始める方法です。Windows とちがうのは3つだけ（ファイルを開いてアプリケーションへ入れる／初回は「開く」／control は command）。

※画面の図は説明用に再現したものです。お使いのパソコンやアプリの版によって、見た目が少し違うことがあります。手順は 2026年10月22日に公式の手順と実物で確認しました。

インストールのリンク (公式)

- Claude デスクトップアプリ（ダウンロード）：<https://claude.com/download>
- 公式：デスクトップアプリで Claude Code を使う：<https://code.claude.com/docs/en/desktop-quickstart>
- Claude の料金プラン：<https://claude.com/pricing>

準備するもの

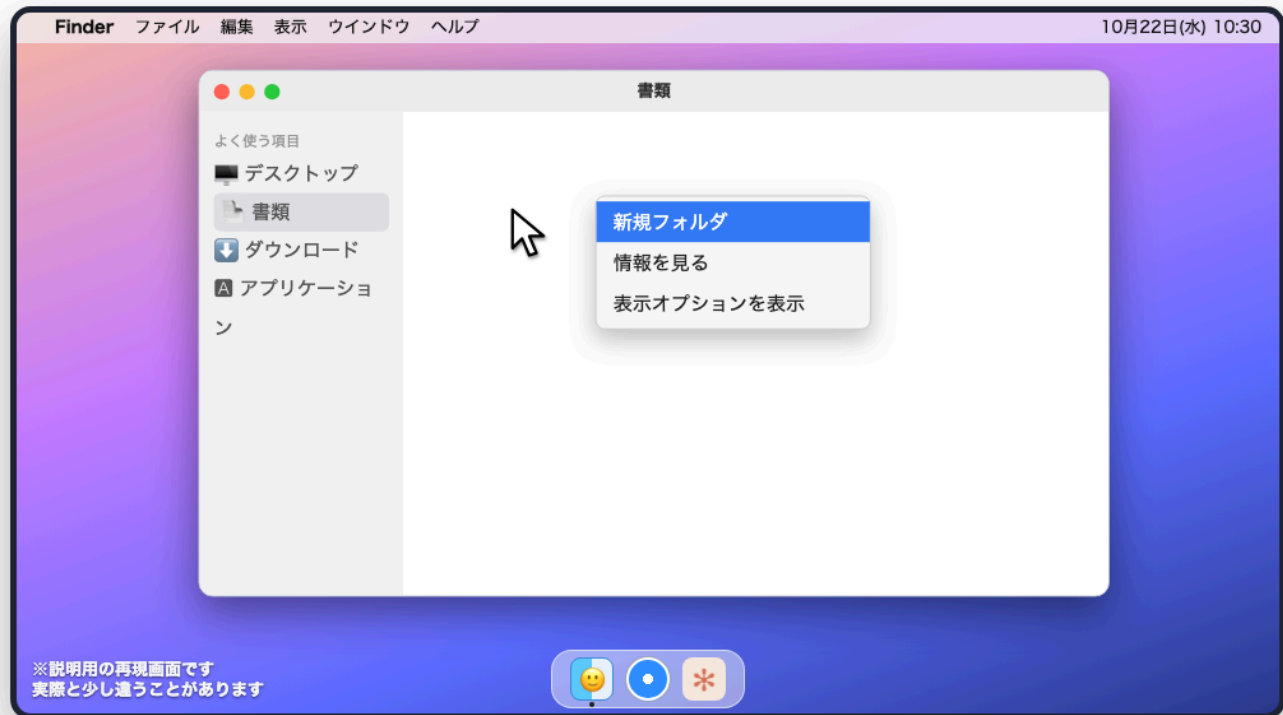
- Mac のパソコン（Intel・Apple シリコンどちらでも）
- インターネット
- Claudeの**有料プラン**（Proから。無料プランでは Claude Code は使えません）
- 会社のMacなら、入れる前に**情シス・総務**にひと声

手順

1

練習用のフォルダを作る

Finder で「書類」を開き、何もないところで**右クリック**（2本指でクリック か control+クリック）→「**新規フォルダ**」。名前は「AIの練習」。



2

「Download for macOS」を押す

ブラウザで claude.com/download を開いて「Download for macOS」。Intel でも Apple シリコンでも同じファイルです。

△ 似た名前の**にせものサイト**に注意。アドレスが claude.com が確かめてください。



3

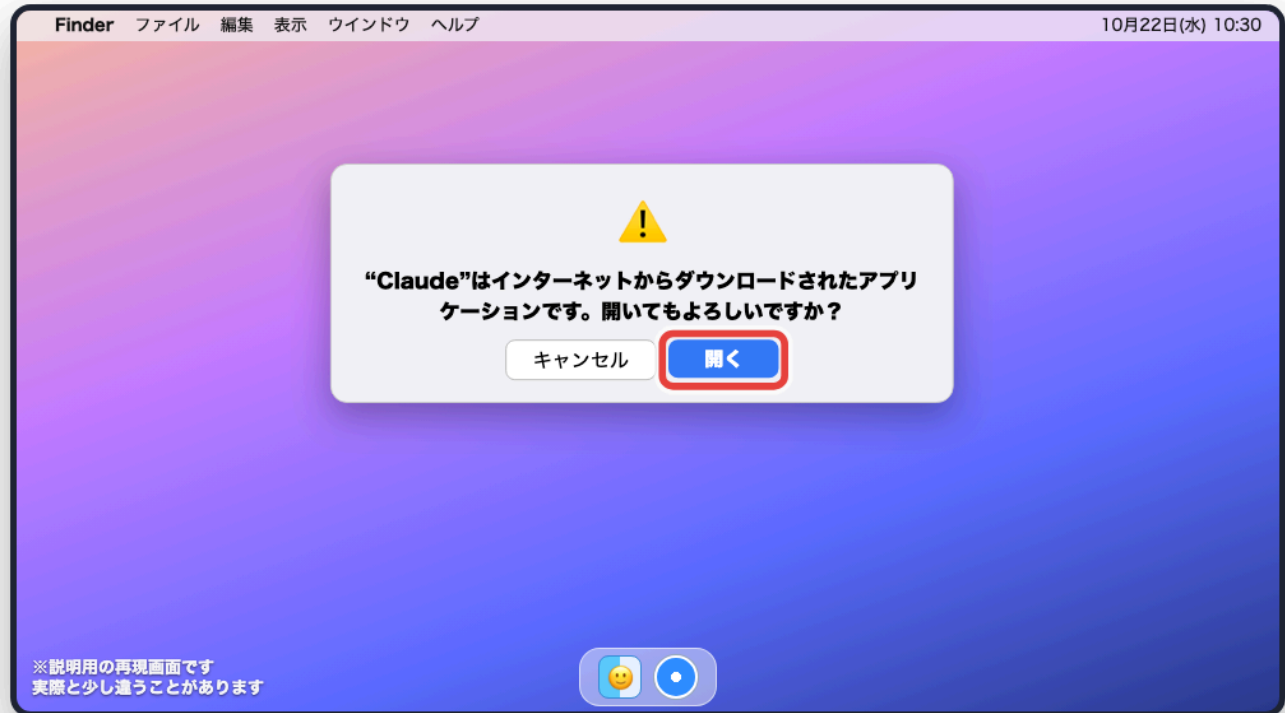
ファイルを開いて、アプリケーションヘドラッグ

ダウンロードしたファイル（.dmg）を開くと窓が出ます。Claude のマークを「Applications（アプリケーション）」ヘドラッグします。



4 初回は「開く」

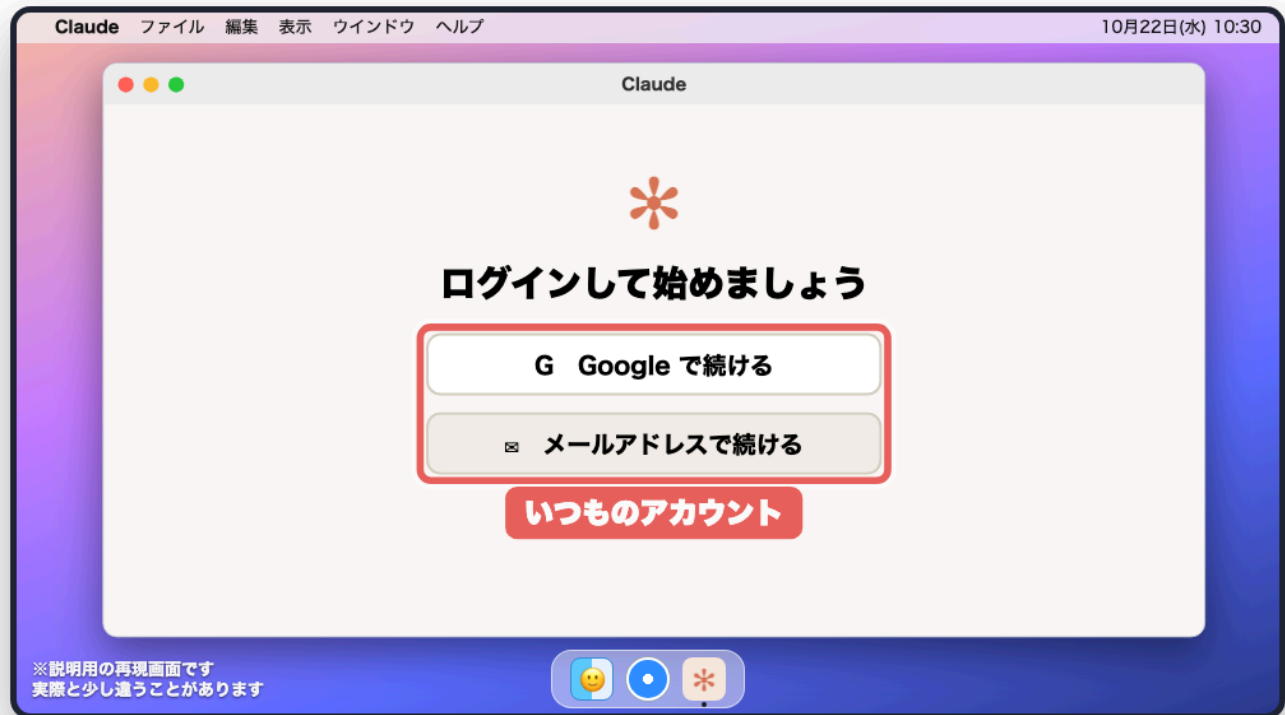
アプリケーションから Claude を開くと、「インターネットからダウンロードされたアプリケーションです。開いてもよろしいですか？」と聞かれます。公式から入れたものなら「開く」。



5

Claude のアカウントでログイン

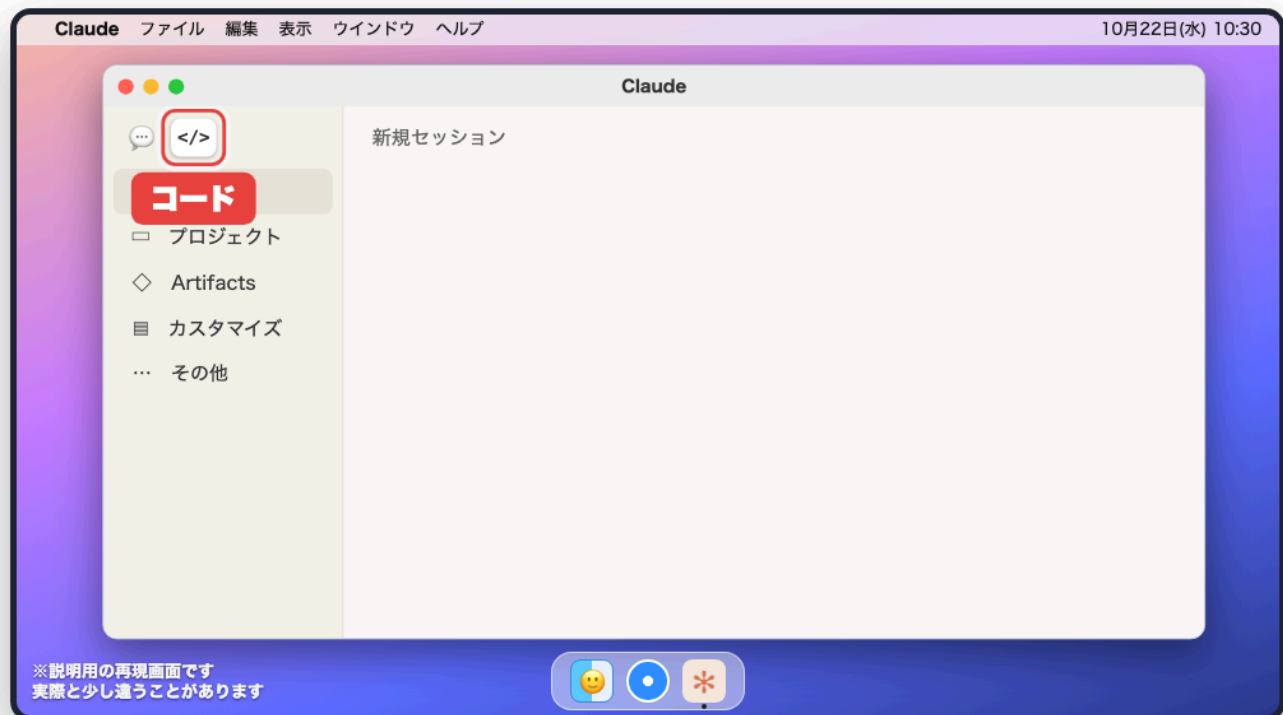
いつも使っている Claude のアカウント（有料プランのもの）でログインします。



6

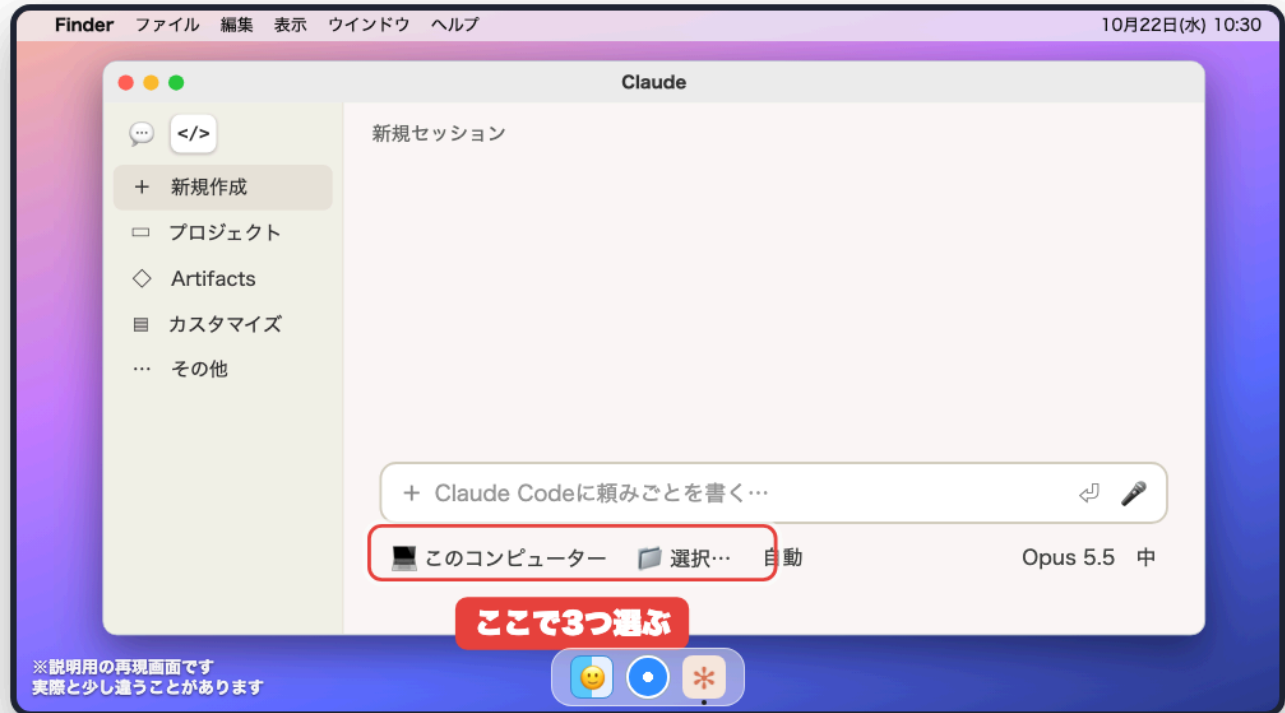
左上の「</>」マーク（コード）を押す

左上の  と </> のうち、</> が Claude Code の入口です。



7 頼む欄の下の「3つ」

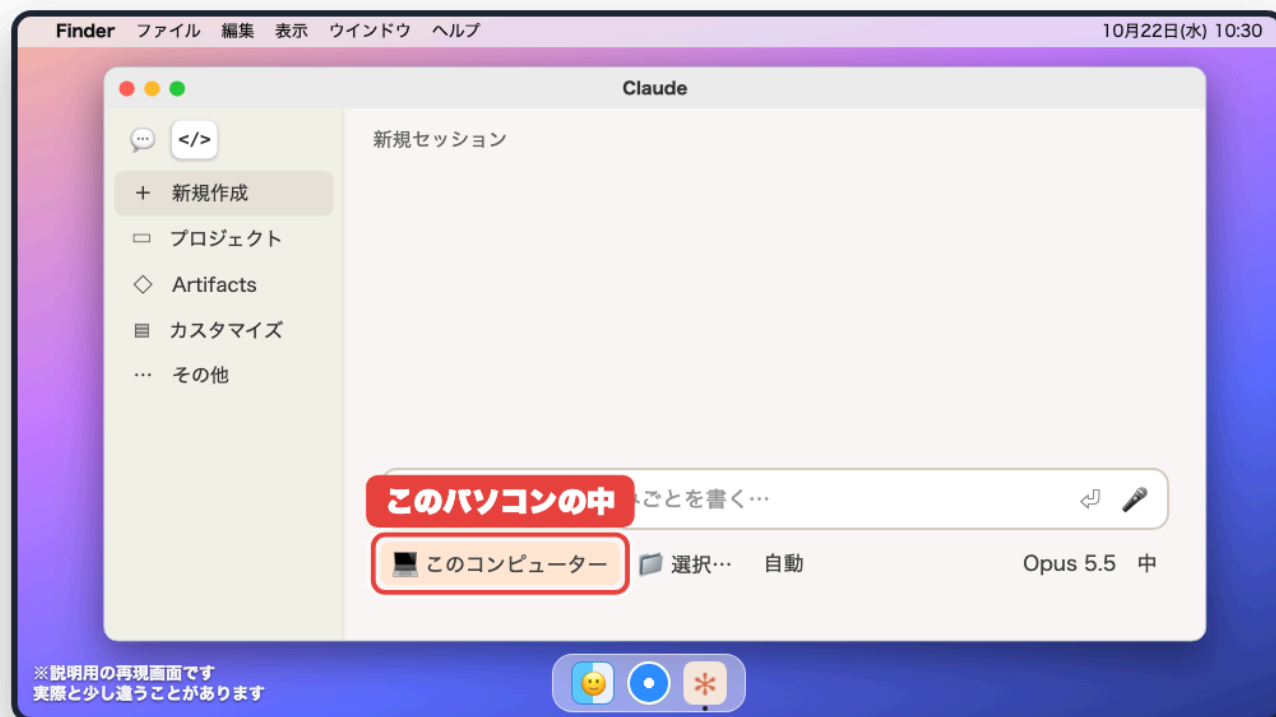
「このコンピューター」「選択…」「自動（または手動）」、右はしに「Opus …」。ここは Windows と同じです。



8

① 「このコンピューター」

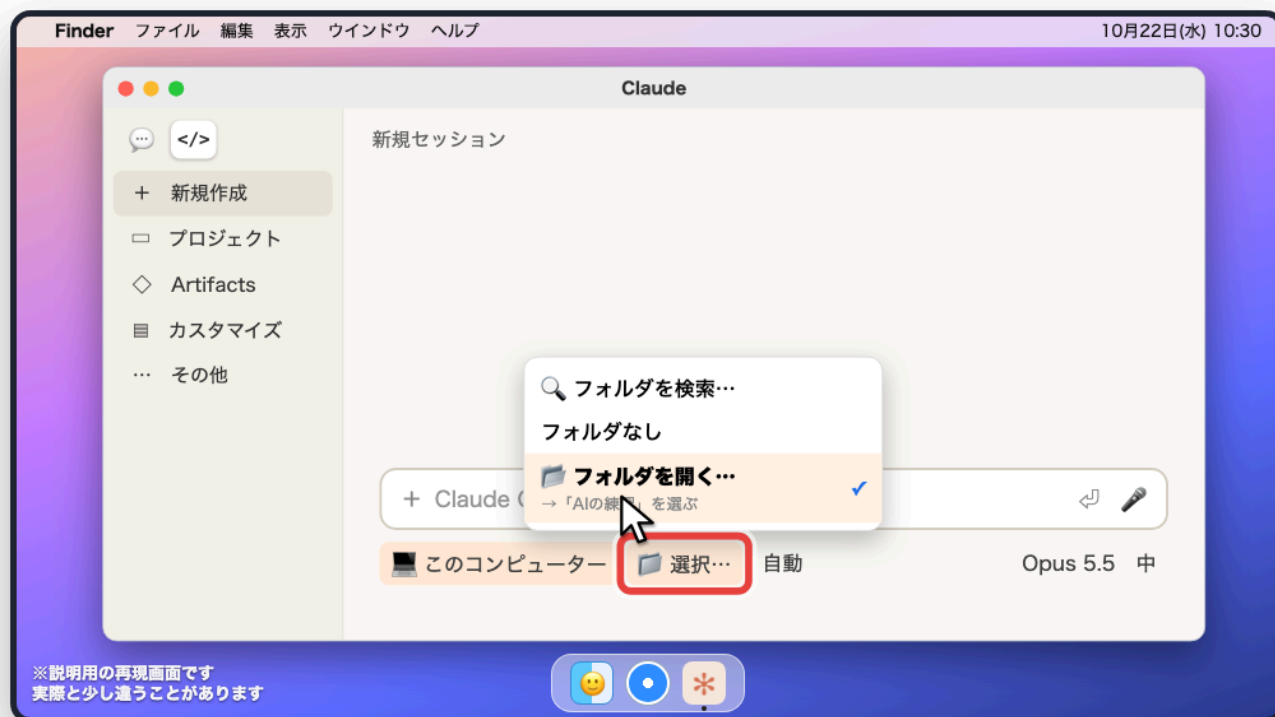
この Mac の中で動かす、という意味です。



9

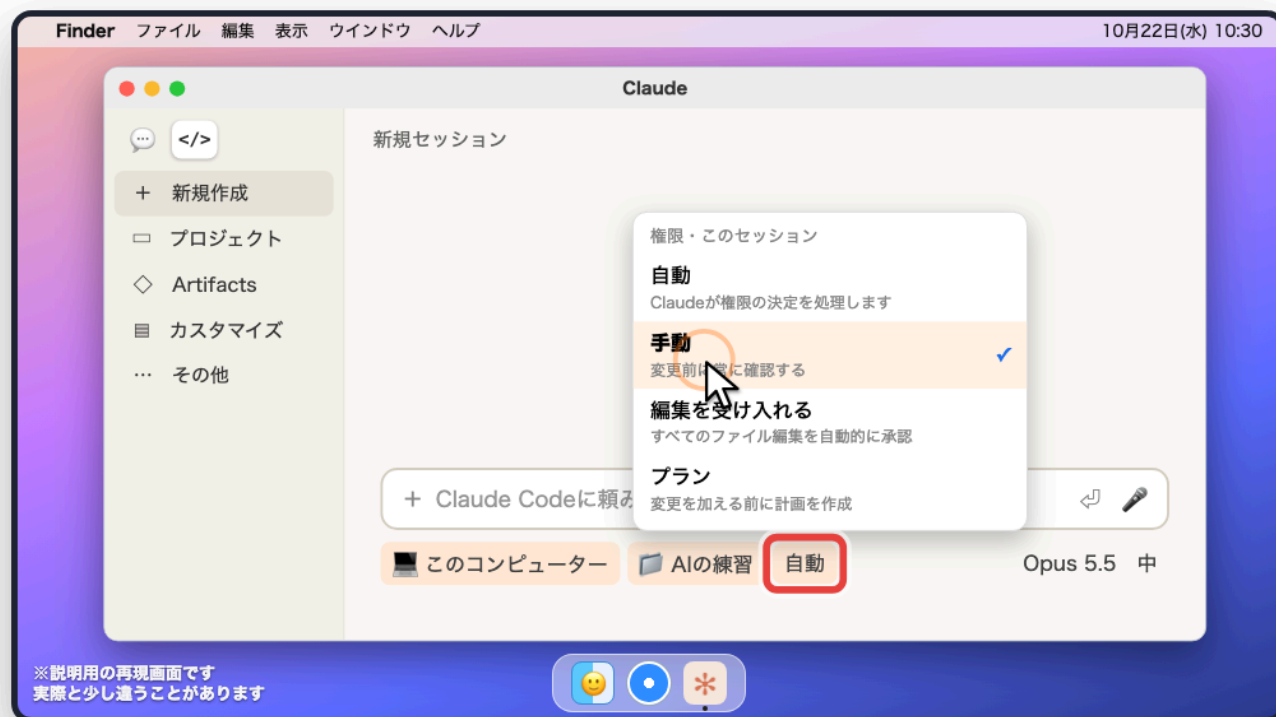
② 「選択…」 → 「AIの練習」

「フォルダを開く…」から練習用のフォルダを選びます。



10 ③ 最初は「手動」

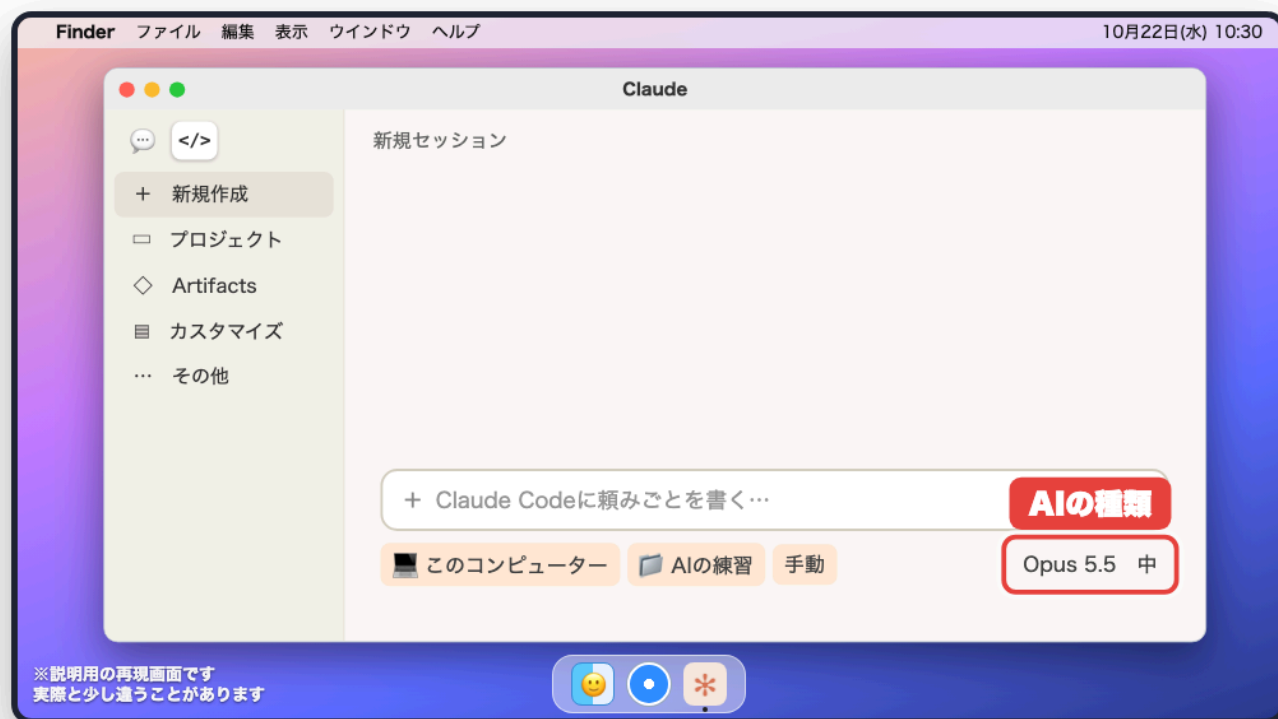
変更前に常に確認してくれるモードです。



11 右の「Opus」はそのまま

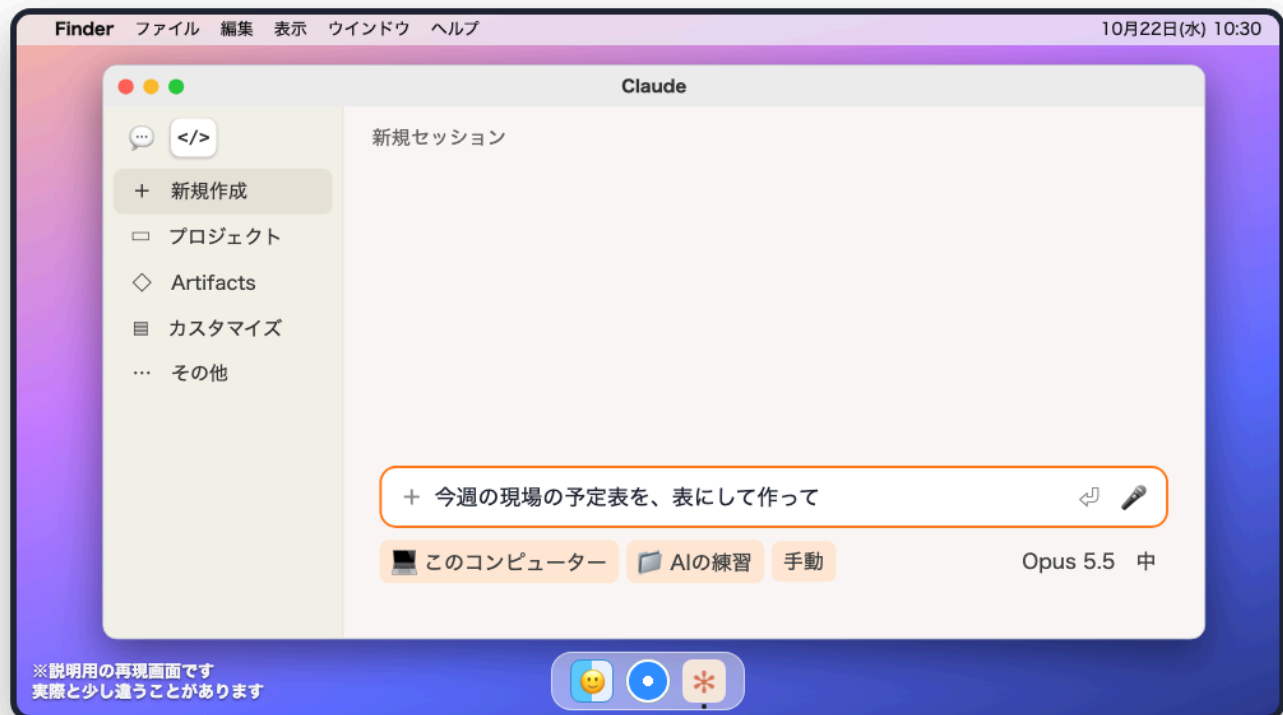
AI の種類です。最初は変えなくて大丈夫。

△ 「Fable」 など一部のモデルは、プランとは別に料金がかかることがあります。



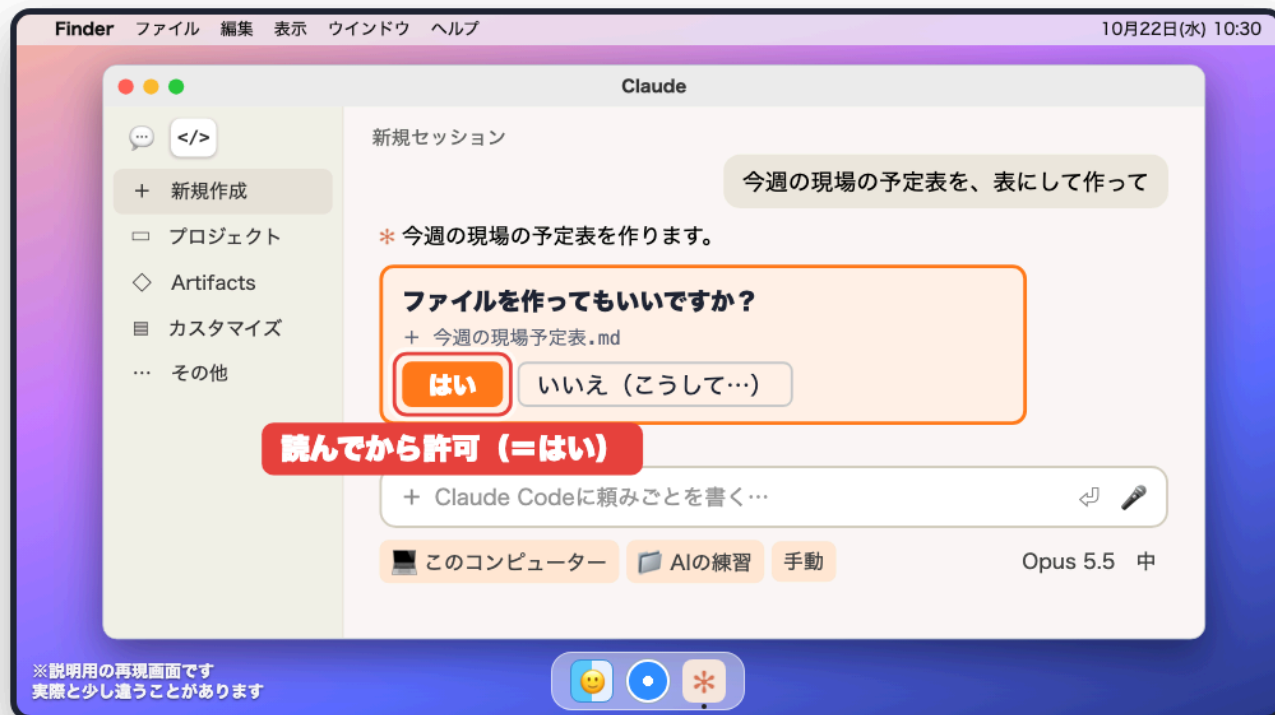
12 頼みごとを書いて return

たとえば「今週の現場の予定表を、表にして作って」。



13 中身を読んでから許可

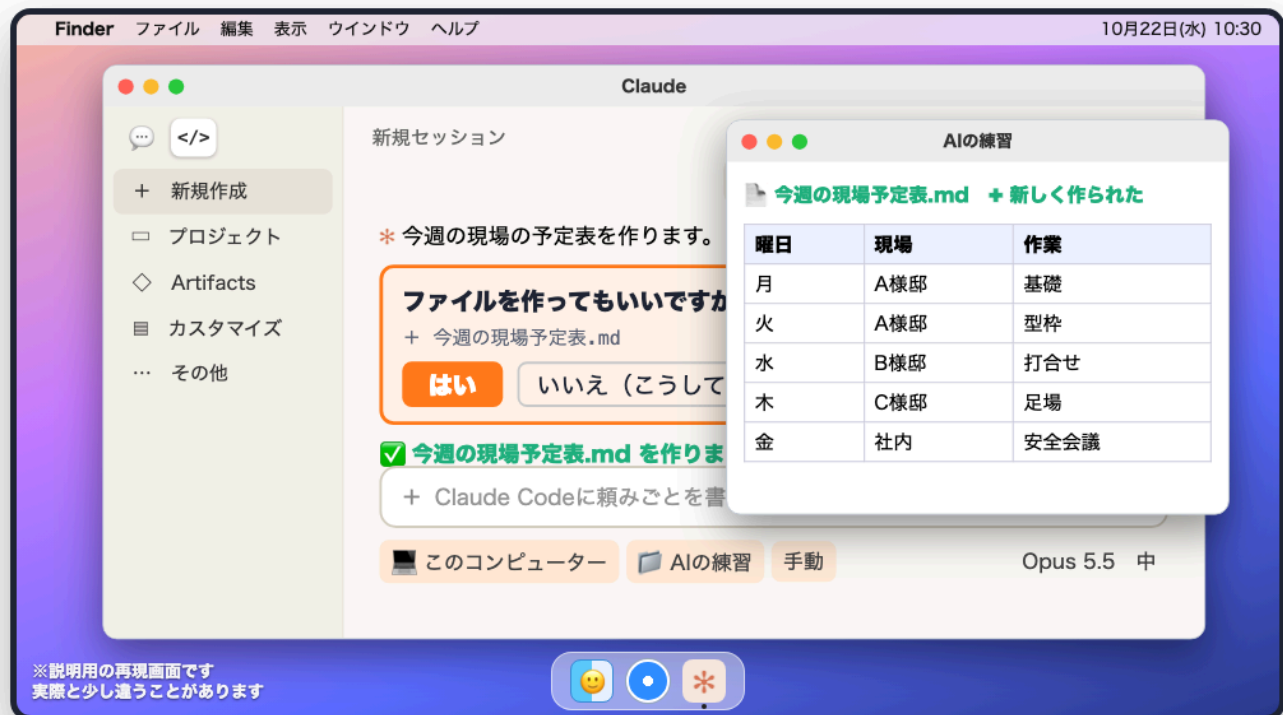
「ファイルを作ってもいいですか？」の中身を読んで、よければ許可（はい）。



💡 写真・連絡先などへのアクセスを聞かれても、仕事に関係なければ許可しなくて大丈夫です。

14 できあがり！

「AIの練習」の中に予定表ができました。



うまくいかないとき

「開いてもよろしいですか」で開けない

システム設定 → 「プライバシーとセキュリティ」の下に「このまま開く」が出ることがあります。
公式から入れたものか確かめてから押します。

左上に「</>」が出ない

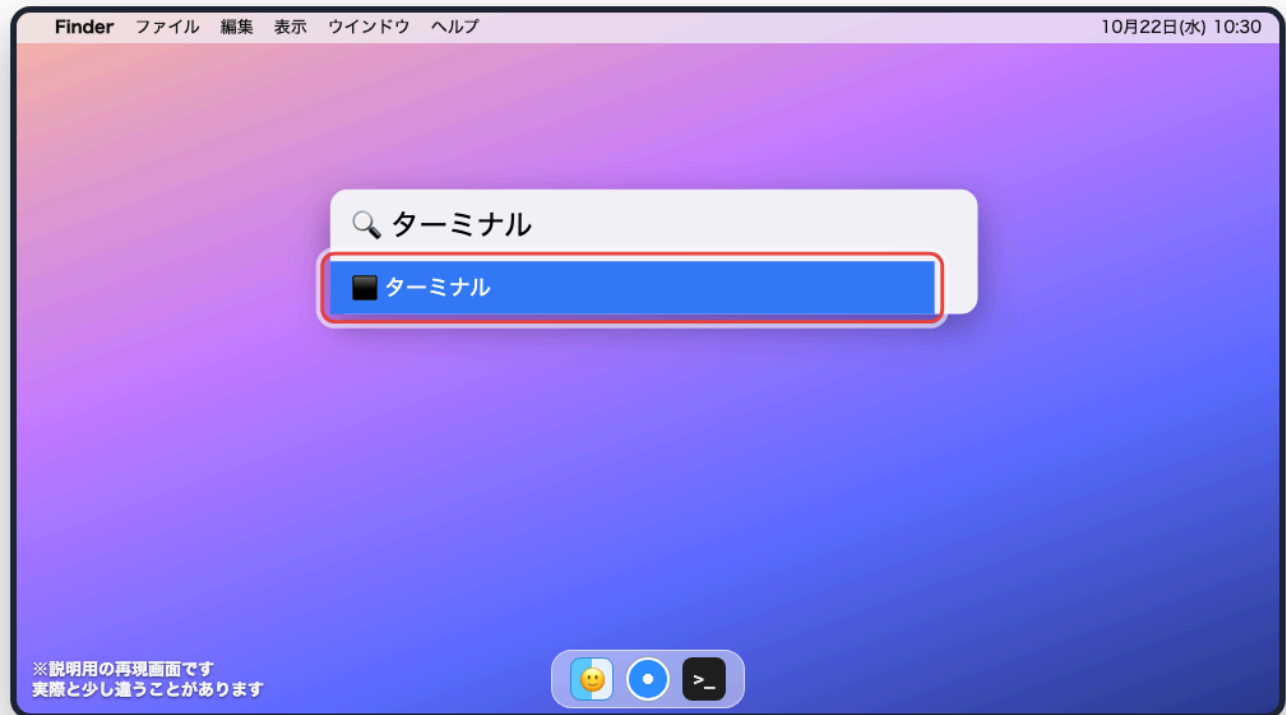
アプリを一度終了して開き直すと最新になります。無料プランでログインしていないかも確かめます。

付録：慣れてきた方へ — ターミナルで入れる（macOS 13 以上）



⌘+スペース → 「ターミナル」

Spotlight で「ターミナル」と打って開きます。

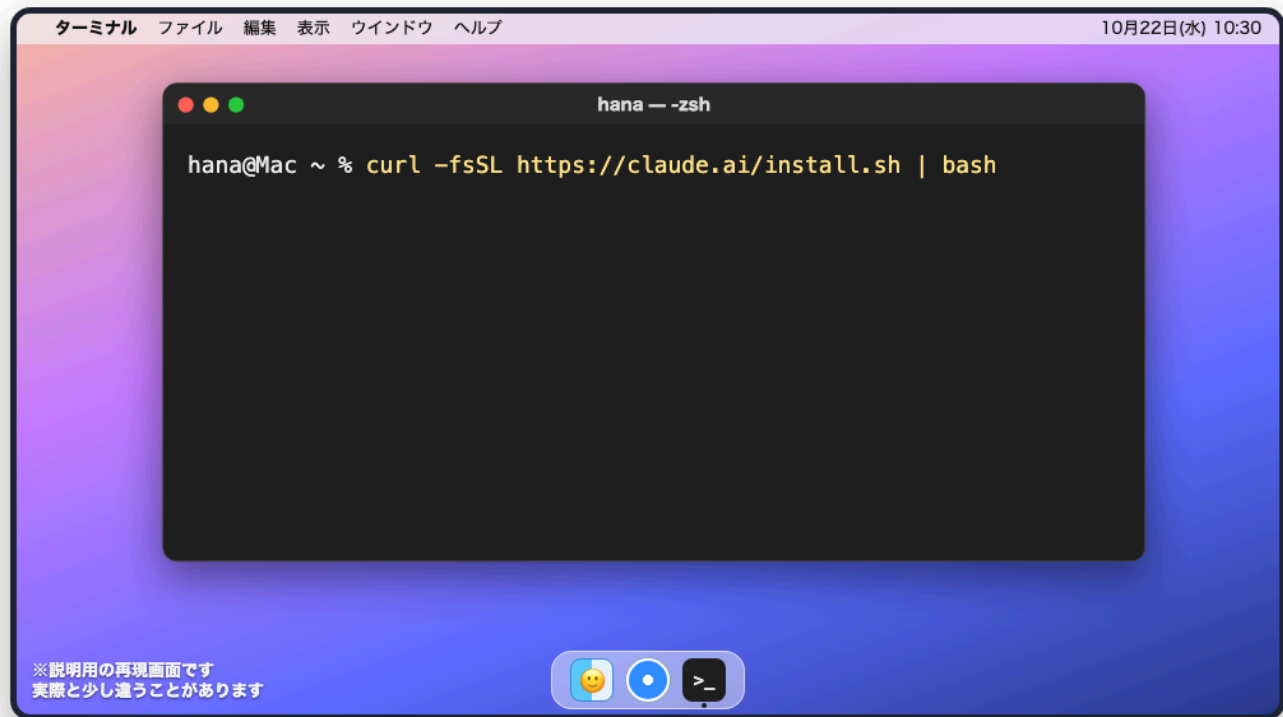


B

1行を貼って return

```
curl -fsSL https://claude.ai/install.sh | bash
```

何も表示されなくても、終わるまで待ちます。



C 開き直して `claude --version`

ターミナルを開き直して `claude --version`。数字が出たら成功。使いたいフォルダで `claude` と打つと始まります。



💡 「command not found」と出たら、ターミナルを開き直します。それでもだめなら公式の「Troubleshoot installation」へ。

次の一歩

- 動画で見る：[会社のAI導入講座 #8「Claude Codeの入れ方」\(再生リスト\)](#)
- 入れ終わったらチェック：[入れ方チェックシート \(無料\)](#)
- ほかの入れ方：[Claude Code の入れ方 ②エディタ VS Code \(Mac\)](#)
- ほかの入れ方：[Claude Code の入れ方 ③エディタ Cursor \(Mac\)](#)
- 会社のパソコンへの入れ方・社内ルールづくりの相談：[無料診断](#)

Claude・Claude Code は Anthropic の製品です。この手順書は Anthropic とは関係のない、個人の解説です。VS Code は Microsoft、Cursor は Anysphere の製品です。自由に社内でお使いください（社外への再配布はご遠慮ください）。